

横浜市相談支援従事者人材育成ビジョン
(令和7年 改定版)

横浜市障害者自立支援協議会 人材育成部会

はじめに

このたび、横浜市相談支援従事者人材育成ビジョンを大幅に改定しました。本ビジョンは、平成24年度の計画相談支援の導入をきっかけとして、相談支援に従事する人材に求める役割等を明確にし、育成することを目的に平成27年度に策定したものです。

平成28年度からは横浜市障害者自立支援協議会人材育成部会にて、社会情勢や本市における人材育成の展望を確認しながら相談支援従事者の専門性や育成等について協議し、検討内容に合わせて本ビジョンの改訂を行ってきました。

障害福祉の制度・施策が充実する中で、相談支援に対する考え方や相談支援従事者を取り巻く状況も変化しています。相談支援が障害福祉サービスを利用するための単なる手続きとして、サービスを当てはめるだけの支援になってしまっている。利用者の意思より、家族の意思が優先されてしまう。また利用者の表面的なニーズに対応するのみで支援を完結してしまうといった実践も、残念ながら少なくありません。さらには、小規模な事業所も多く、知識や技術の学習、教育の機会が得にくい環境にある相談支援従事者も増えています。

しかし、どのような状況にあっても、相談支援従事者に求められている普遍的で、本質的な支援があります。ソーシャルワークの「価値・倫理」を基盤に、専門的な「知識」及び「技術」等を駆使し、真に本人を中心とした相談支援を実践する力、そして、自らの取組や行動を他の社会福祉従事者等にも広げ、障害のある人が自らの意思により自分らしく生きることができる地域づくりを進めていくことです。

本ビジョンが、常に自己研鑽していくことが求められている相談支援従事者にとっての実践の道標となれば幸いです。

横浜市自立支援協議会人材育成部会
座長 高山 直樹

目次

- 1 相談支援従事者人材育成ビジョン策定の目的と組織の責務
 - (1) 目的
 - (2) 組織の責務
- 2 相談支援をとりまく現状
- 3 横浜市の相談支援従事者の意義と役割、必要な力
 - (1) 意義と役割
コラム：ある生活支援センターでの出来事 ― ピアサポートの視点から ―
 - (2) 相談支援従事者に必要な力
- 4 意思決定支援について
 - (1) 定義
 - (2) ケアマネジメントプロセスに沿った意思決定支援
 - (3) 意思決定支援の中での支援者の葛藤～葛藤からの展開～
 - (4) 意思決定支援をチームで取り組む
 - (5) 意思決定支援を地域～社会に広げるには
- 5 相談支援従事者の育成に向けた取組
 - (1) 人材育成の3つのレベル
 - (2) 本市における人材育成システム（相談支援事業所を中心に記載）
 - (3) 本市による相談支援従事者研修体系
- 6 横浜版障害福祉分野における相談支援従事者（ソーシャルワーカー）の人材育成指標
 - (1) 目的
 - (2) 活用方法
 - (3) 各項目の説明
- 7 まとめ
- 8 参考資料
 - 資料1 実践取組確認シート
 - 資料2 人材育成指標
 - 資料3 わが国と横浜市の障害者福祉の展開～相談支援を中心に～